

2015年7月7日

報道関係者各位

宮城県立仙台二華高等学校にて模擬国連授業を実施

講師派遣事業の一環 約200名の高校1年生が世界の水問題を議論

7月7日(火)に宮城県立仙台二華高等学校にて、約200名の高校1年生に対して模擬国連の授業を開催いたしました。

「The human right to water (水に対する人権)」という議題の下、水にアクセスできることが人権であるかどうかという論点で、「第64会期国際連合総会本会議」を模擬していただきました。今回の参加者の高校生はほぼ全員、模擬国連未経験者であり、冒頭は「水の人権と捉える」と「水をニーズ・商品と捉える」ことの違い、およびそれに対する国家の立場の理解に戸惑っていましたが、実際に議論が始まるとよく議論できているように感じられました。後日いただいたアンケートにて、生徒の方から、今回の体験は担当国を調べる中で、日本だけではない視点や、ディベートではなくお互いに譲歩しながら意見をまとめていくといった点が大変勉強になったという声を多くいただきました。

講師派遣事業では、模擬国連を通して、国際問題の幅広い知識に触れ、現代社会が抱えるさまざまな課題を世界各国のさまざまな立場から多角的に考える良いきっかけを提供したいと思っております。日本模擬国連は、豊かな国際感覚と社会性を有し、未来の国際社会に対し大いに貢献できる人材の育成、輩出のために我々がお手伝いできる機会として、今後も継続して実施してまいります。



<本件に関するお問い合わせ>

日本模擬国連代表部(JMUN Office)広報情報担当の戸嶋までお願いいたします。

<mailto:pub@jmun.org>